

I 第37週の発生動向 (2008/9/8~2008/9/14)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内では、2007年第48週から**警報**が続いています。(注:警報開始基準は2人/定点、終息基準値は0.1人/定点です)。
2. 手足口病については、上十三保健所管内において、新たに**警報**が出されています。
3. ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内において第31週から**警報**が続いています。

II 第37週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(85) インフルエンザ														0					
(74) RSウイルス感染症	2	0.22	4	0.44	3	0.33	3	0.60					12	0.29	-9			2	0.25
(75) 咽頭結膜熱	1	0.11	1	0.11					1	0.17	9	2.25	12	0.29	1			1	0.13
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.56	2	0.22	3	0.33			1	0.17	15	3.75	26	0.62	1			5	0.63
(77) 感染性胃腸炎	15	1.67	4	0.44	12	1.33	9	1.80	10	1.67	4	1.00	54	1.29	-11	2	2.00	13	1.63
(78) 水痘	4	0.44	9	1.00	8	0.89	5	1.00					26	0.62	3			4	0.50
(79) 手足口病	23	2.56	17	1.89	17	1.89	6	1.20	40	6.67	2	0.50	105	2.50	1	13	13.00	10	1.25
(80) 伝染性紅斑					2	0.22							2	0.05	-4				
(81) 突発性発しん	7	0.78	8	0.89	6	0.67	2	0.40	4	0.67	7	1.75	34	0.81	8			7	0.88
(82) 百日咳														0					
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																		
(83) ヘルパンギーナ	45	5.00	21	2.33	3	0.33	12	2.40	13	2.17	7	1.75	101	2.40	-6	4	4.00	41	5.13
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																		
(84) 流行性耳下腺炎					1	0.11	1	0.20	1	0.17			3	0.07	-5				
(86) 急性出血性結膜炎														0					
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	5	2.50	3	3.00					10	0.91	7			1	0.50
(95) マイコプラズマ肺炎					1	1.00					2	2.00	3	0.50	-3				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」:患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注:届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方1人,弘前4人,八戸2人,五所川原2人,上十三2人,青森市2人 (20年計:358人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 八戸1人 (20年計: 15人)
- (59) ウイルス性肝炎(五類全数把握疾患): 弘前1人 (20年計: 2人)

感染症の窓

ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎は、A、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

A型、E型は全数把握四類に指定され(四類は動物由来の感染症を多く含む)、それ以外は全数把握五類のウイルス性肝炎に指定されています。

症状は、A型、E型では、突然発症することが多く、C型は、多くは徐々に全身倦怠感、悪心、嘔吐、食欲低下、持続する発熱、上腹部膨満感、その他皮膚が痒い、尿の濃色、クモ状血管、黄疸などが現われ、各型とも同様かいずれかの症状を伴います。

A型及びE型は主にウイルスに汚染された食べ物を介して感染し、B型、C型、D型肝炎ウイルスは主に、性交渉や血液等を介して感染します。

青森県においては、過去5年間では、年間1人~4人の届出数となっています(表)。

表1 青森県における届出数

2004年	2人
2005年	1人
2006年	4人
2007年	3人
2008年(第37週現在)	3人

<感染経路・感染予防>

A、E型肝炎は、汚染された食品や水を飲食しないことや、肉類、魚介類を十分に加熱して食べることで、また、排便後の手洗いを励行することが大切です。

B、C、D型肝炎は、性交渉や汚染された血液等を介して感染することから、医療従事者においては注射器などの針刺し事故等に注意が必要です。